



# 三条ロータリークラブ週報

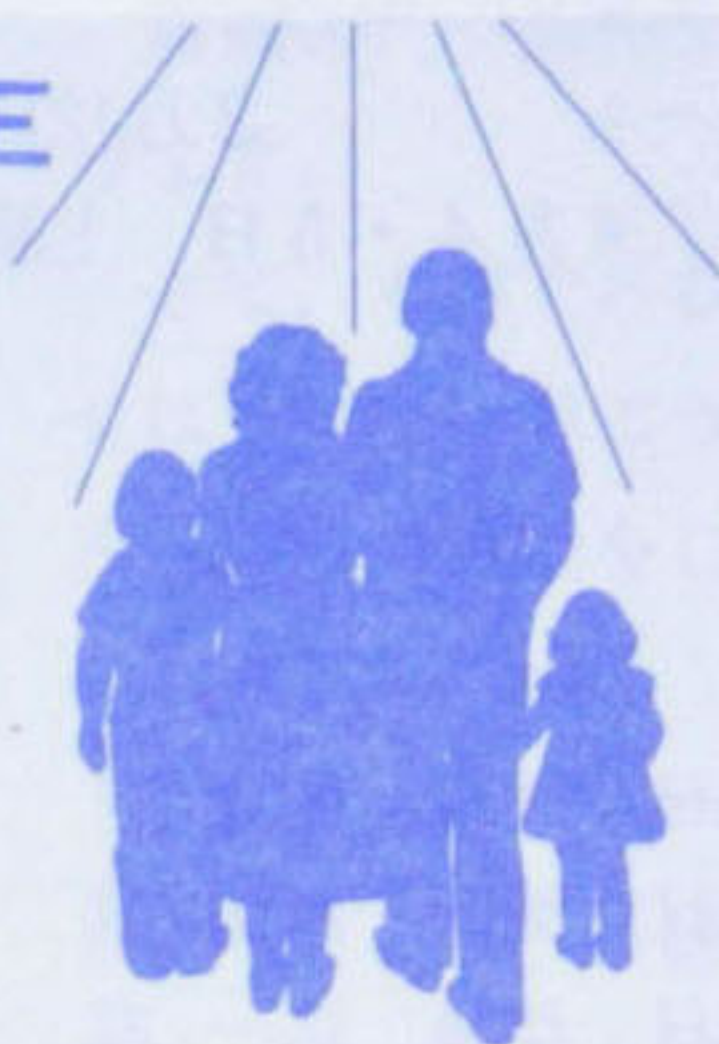
1987. 2 4

No. 1495

No. 32

ROTARY BRINGS HOPE

## ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カバラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長—日戸 平太 幹事—上木 六治 SAA—外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)



出席率: 会員 66名中 41名 : 先々週出席率: 92.42% (前年同期 90.14%)

今日のお花: シンビジウム

ヴィジター: 三条南より 弥久保藤雄君、石田行雄君、永桶栄資君

ゲスト:

先週のメイクアップ: 1/22 小千谷へ 近藤与助君

2/2 三条南へ 五十嵐総一君、外山雅也君、高橋一夫君、箱崎源伸君、斎藤弘文君

2/3 三条北へ 高森昭光君、堀川政雄君、大谷幸平君、長谷川有美君、五十嵐昭一君、岩井和夫君、斎藤弘文君、吉田晃君

会長挨拶: 熊倉副会長

日戸会長がお休みで、かわりましてご挨拶を申し上げます。今日は卓話のスピーカーとして梨本さんをお迎えしております。ご苦労様です。又先日新潟へご栄転になられた板屋越さんの後任として浜さんのご出席を頂いております。後程野村会員よりご紹介をお願いします。

幹事報告: 上木幹事

◦ロータリー財団奨学生募集ポスター

◦高崎ロータリークラブより 会長エレクト研修セミナーのご案内

4月5日(日) 高崎ターミナルホテル

- 吉田ロータリークラブより 週報
- 白根ロータリークラブより 例会変更のご案内  
2月5日 会場をサルナート 2月12日 午後6時30分より高橋会館
- 第255地区年次大会のご案内 4月4・5日 土浦市民会館
- 米山奨学会より寄附金明細表

## 2月のお祝い

### 会員誕生祝い

5日 川又嘉瑞範 君	10日 高森 昭光 君	10日 藤田 説量 君
17日 加藤紋次郎 君	23日 滝沢 富雄 君	23日 佐藤聖一郎 君
26日 斎藤 弘文 君	26日 伊藤 広一 君	

### 夫人誕生祝い

7日 藤田(説量)智 さん	9日 藤田(絃一)幸子 さん
15日 渡辺(惣吉)イツ さん	15日 上木 キヨ江 さん
15日 佐藤(聖一郎)信子 さん	19日 長谷川 美智子 さん

## ニコニコBOX ¥12,000



濱 潔 (NTT三条電報電話局長)

新任の局長の濱でございます。三条は初めての任地であります。今後は皆様の友情に支えられて一日も早く地域に密着するよう努めたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

梨本君 三条北クラブに御声援をいただき厚く御礼申し上げます。

平原君 元三条ロータリークラブ会員で本日は講師としておいでの梨本さんを歓迎して。

古澤君 世界理解月間にあって、年次大会、交換学生と国際理解のため力をつくされた梨本清一さんに卓話をお願いしました。

高橋(一)君 梨本さんに一票。

斎藤(権)君 三条新聞の創刊10,000号を記念して。

## 新入会員紹介： 濱 潔 (はま きよし)

- 生年月日 昭8.4.18 53才
- 前任地 新津電報電話局長
- 家庭状況 妻  
長女 桐朋音楽大学ピアノ科(3年)  
(女のみです)
- 趣味 特にないが、身体を動かすことを心掛けていることから下手なゴルフを少々。酒はあまり飲めないが、飲めばカラオケで楽しむのが好き。カラオケは演歌専門。
- 出身地 佐渡郡両津市



卓 話： \*世界理解月間によせて、

三条北RC 梨本 清一 殿



冒頭に、三条北クラブへのご支援を心より感謝申し上げます。

さて、本題である「世界理解月間」とは、ひと言で申せば、国際理解につとめ、世界の平和とその発展に出来る限りの貢献をしようではないか、ということだと思います。

その基本となるべき国際理解の、最も近道で、最も効果あることは、一緒に生活を共にすることです。幸い、我が国もホームステイがポピュラーとなり私の家の様なヒドイ家にまで外人さんが泊まっていただけになる様になりました。そのエミーが泊まっている間に、

更にRI会長代理のオム・ジュテイ等韓国人と4泊6日の生活を共にするわけで、この思いがけない出来事は、私にとりまして大変貴重な体験をさせて戴いたすばらしいS61年であったわけです。

エミーのお話はこれまでしばしば話しておりましたので、今日は主として韓国の方の話から参ります。4泊6日とは、我々の年次大会の1週間前の埼玉地区大会があるのです。私は藤田ガバナーのお供をしてRI会長代理ご夫妻に歓迎のご挨拶をした後、私の方は専ら同行のヤン・ジョンホ、リ・メンセ夫妻をお相手に大宮見学など1日中接触しておりました。帰る時に「君を兄弟と呼んでもいいか？」とヤンさんに言われながら再会を約します。

その後、再び東京に向き5人のお供をして1日東京見物、長岡にお連れして1泊、その後新潟のイタリヤ軒で3泊となります。その間、文字通り片時も離れずに生活を共にするわけです。その接触を通して、韓国の置かれた位置、経済の状態、オムRI会長代理としての重責、そのお人柄、ヤンさんの性格等々さまざまなのが推察出来るわけです。

いろいろな思い出がありますが、一番つらくて今にして思えば大変楽しかったことは、ホテルに帰るや否やヤンさんと2人でオムRI会長代理の部屋に呼ばれて、明日のための準備をすることでありました。RI会長代理としての挨拶です。オムさんがご自分の考え方をところどころ韓国語の混じった日本語で話されます。それをヤンさんがやや正確な日本語に言い換えて更に私が正しい日本文にするという3人の協同作業なのです。

今でも忘れることの出来ない思い出は、「本当に、本年度のロータリーは、希望をもたらすと私はかたく信じております。何故ならば……」のその次です。「栗をトゲとか皮とかむいてその中からやっと中身(栗)をとり出すことが出来た心もちだからであります」これを訳せと言うのです。何度も違うと言われてやっとOKが出ました。「て、に、を、は」の様な些細なことでも、私の直しに対して彼等2人は盛んな韓国語で論じ合いやっとOKが出るのです。

帰路、新潟空港への車中、私はヤンさんに言いました。「僕は大変ラッキーな男だ。幸せ者だ」。そしたらヤンさんは「その通り本当に君は幸せ者だ。何故ならば、オム先生は韓国では

雲の上の人で一般のロータリアンはなかなか近寄れない。だのに君は4日も5日も朝から晩まで一緒だった」考えていることが全然違うのです。ここでも韓国という国のお国柄、オムさんやヤンさんの置かれた位置づけもわかります。韓国も日本もアメリカも民主主義の国です。たまたまアメリカ人のエミーと一緒に暮らしていただけに韓国対アメリカの民主主義が対照的でした。

エミーの話をしします。エミーも日本に来がけの頃はアメリカと日本の違いを発見しては「アメリカでは」「アメリカでは」を連発しておりました。しかしその違いがより鮮明に、より決定的になるのは修学旅行においてです。

このわずか4泊か5泊の、クラスメートと寝泊りを共にしたということが「私ひとりつんぼさじきの旅行」と悲しませるほどの違いを発見するのです。その違いを一つひとつ具体的に言ってみても言葉で言えないのです。全部違う、考え方が違う、ということなのです。そこで私は、わかる、わかる、エミー大変よくわかると言ったのです。日戸会長は私にこう言われたことがあります。まず違いを認めること。次にその違いをすべて受け入れること。そして生活を共にする。ところが現実には、違いを認めることはわかった。次には頭ではすべて受け入れられるが体では受け入れられないものと、受け入れられないものがあるよ、と反論したことがありました。

マツカハラスはロータリーの友2月号に書いておられます。平和に対する考え方でも、国によってまたその立場によってさまざまに異なるという事実を受け入れなければならない。そしてその相違点を克服する努力をしなければならぬ。それをお互いの尊敬、つくし合う、助け合うという言葉を使って奉仕と言いつわっています。私もその後日戸会長の言われる意味がなんとなくわかってきた様ですし、エミーも乗り越えてくれた様であります。

昨年は私にとって本当にすばらしい年でありました。「生活を共にした」ことによって外国人に対する見方が随分変わりました。その国の歩んできた歴史と文化、そしていまその国をとりまく政治・経済・諸々の環境、その中で生まれ、生活するヤンさんのパーソナリティ、エミーのライフスタイルという見方。国際理解とは国と国とではなくてその国に住む人と人との理解が前提であり、また基本であります。

最後にひと言。

ロータリーのさまざまな奉仕活動のなかで国際奉仕こそ最もロータリーらしい、ロータリーならではの活動だと思います。ロータリー財団の寄金額も、ポールハリスフェローの人数も我が国は世界の1/3をしめております。日本は今、10万人の外国人留学生を受け入れています。近年それが14%ずつ増えております。だのに何故日本は外国から白い目で見られるのですか、ことごとく後指を指されるのですか？ 私見ですが、制度としてすばらしくともそれを実行するのはヒトです。人の心に何か一線を画しているものがあるのでしょうか。或いは先程お話しした「違い」を理解しないで、こちらサイドの一方的な押し売りでもあるのでしょうか。

ご静聴ありがとうございました。

---

次 週 例 会      2月11日      建国記念日のため休会

---

次々週例会      2月18日      卓話 滝沢富雄会員

---